

安全データシート

作成日：2020 年 10 月 7 日
改訂日：2026 年 8 月 20 日

1. 製品及び会社情報

製品名	ジエタノールアミン 80%
会社名	アーク株式会社
住所	大阪市中心区安土町 3-5-13
電話番号	06-6563-7710
FAX 番号	06-6563-7720
緊急連絡電話番号	06-6563-7710（受付時間：平日 9:00～17:30）
推奨用途及び使用上の制限	合成洗剤、乳化剤、靴墨、つや出し、ワックス、農薬等、有機合成、 切削油、潤滑油との添加剤、防虫添加剤、繊維の柔軟剤原料、 ガス精製、有機溶剤、pH 調整剤、中和剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 JIS Z 7252、7253：2025 使用	
物理化学的危険性	
物理化学的危険性	分類できない、又は該当する区分なし
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	区分 4
皮膚腐食性／刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分 1
皮膚感作性	区分 1A
発がん性	区分 2
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器毒性（単回ばく露） 【区分 1】	肝臓
特定標的臓器毒性（単回ばく露） 【区分 2】	呼吸器系、腎臓
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 【区分 1】	呼吸器系
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 【区分 2】	肝臓、血液、腎臓
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期（急性）	区分 2
水生環境有害性 長期（慢性）	区分 3
GHS ラベル要素	

絵表示又はシンボル	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	H302 飲み込むと有害 H315 皮膚刺激 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H318 重篤な眼の損傷 H351 発がんのおそれの疑い H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い H370 臓器の障害（肝臓） H371 臓器の障害のおそれ（呼吸器系、腎臓） H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器系） H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（肝臓、血液、腎臓） H401 水生生物に毒性 H412 長期継続的影響によって水生生物に有害
注意書き	
【安全対策】	P201 使用前に取扱説明書を入手すること。 P202 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 P260 粉じん、煙、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 P264 取扱い後は手や顔をよく洗うこと。 P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
【応急措置】	P301+P312 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。 P330 口をすすぐこと。 P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。 P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P310 直ちに医師に連絡すること。 P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
【保管】	P405 施錠して保管すること。

[廃棄]	P501 内容物及び容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して廃棄すること。
------	---

3. 組成、成分情報

化学物質／混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	ジエタノールアミン
濃度又は濃度範囲	ジエタノールアミン 78.00～82.00% 水 18.00～22.00%
CAS RN	ジエタノールアミン 111-42-2
別名	2,2'-Dihydroxydiethylamine、2,2'-Iminodiethanol
化学式	C4H11NO2
官報公示整理番号 化審法	(2)-302、(2)-354
官報公示整理番号 安衛法	公表化学物質

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱がせる、取り除くこと。多量の水と石鹸で洗うこと。 医師に連絡すること。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
想定される主な症状及び影響	皮膚刺激、重篤な眼の損傷、アレルギー性皮膚反応。反復又は長期にばく露した場合、肝臓、腎臓、血液、呼吸器系に影響を及ぼすおそれがある。
応急処置をする者の保護	救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの適切な保護具を着用すること。 医師に対する特別な注意事項 医師は本剤の腐食性・感作性・特定標的臓器毒性を踏まえて対処すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末、泡、水噴霧、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	棒状注水
火災時の特定危険有害性	燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生する恐れがあるので注意する。
特有の消火方法	消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。 関係者以外は安全な場所に退去させる。 周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、必ず適切な保護具（空気呼吸器等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	個人用保護具を着用する。 漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。
環境に対する注意事項	製品が排水路や河川等に排出されないよう注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	土砂やおが屑等の不燃性吸収剤を用いて吸収させ、密閉容器に回収する。 付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	取扱いは換気のよい場所で行う。 適切な保護具を着用する。 ミストが発生しないように注意する。 取扱い後は手や顔などをよく洗う。
注意事項	できれば、密閉系で取扱う。 ミストやエアゾールが発生する場合には、局所排気を用いる。
安全取扱い注意事項	強酸・強酸化剤との接触を避ける。
保管	
適切な保管条件	容器を密栓して冷暗所に保管する。 湿気を避ける。 施錠して保管する。 酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。
避けるべき保管条件	高温、湿気、直射日光
安全な容器包装材料	法令の定めるところに従う。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。
管理濃度	設定されていない。
濃度基準値 (安衛則第 577 条の 2 第 2 項)	8 時間濃度基準値：1 mg/m3 短時間濃度基準値：設定されていない
皮膚等障害化学物質等 (安衛則第 594 条の 2)	該当（皮膚刺激性有害物質、皮膚吸収性有害物質。裾切値 1 重量％）
許容濃度	
ACGIH TLV(TWA)	1 mg/m3(IFV) (skin)
日本産業衛生学会（2025 年版）	設定されていない

保護具	
呼吸器の保護具	防塵・防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。
手の保護具	不浸透性の手袋（ネオプレンゴム、ニトリルゴム、ブチルゴム等）。
目の保護具	保護眼鏡（ゴーグル型）。状況に応じ保護面。
皮膚及び身体の保護具	不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

形状	液体（20℃、1 気圧）
色	透明
臭い	アンモニア臭
pH	11.5
融点	データなし
沸点／沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
燃焼又は爆発範囲 下限	データなし
燃焼又は爆発範囲 上限	データなし
蒸気圧	<0.01 mmHg（20℃）
比重	1.0919（20℃）
溶解度 [水]	混和性

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	適切な条件下においては安定。
危険有害反応可能性	特別な反応性は報告されていない。
混触危険物質	酸化剤、酸、金属
危険有害な分解生成物	二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性	経口 ラット LD50：620 µL/kg 経皮 ウサギ LD50：7,640 µL/kg 腹腔内 ラット LD50：120 mg/kg
皮膚腐食性／刺激性	ウサギ 500 mg/24H（中等度刺激性）
眼に対する重篤な損傷／ 眼刺激性	ウサギ 750 µg/24H（重度）

皮膚感作性	【分類根拠】 日本産業衛生学会において皮膚感作性物質第2群に分類されていること、及び金属加工液等への職業性ばく露者を対象としたパッチテストにおいて有意な陽性率が報告されていることから、区分1Aとした（産衛学会許容濃度等の勧告(2017)、MOE初期評価(2021)、ACGIH(8th, 2009)等）。
生殖細胞変異原性	マウス肝細胞・ラット肝細胞 DNA 損傷試験 陽性（10 mg/L/24H）
発がん性	マウス皮膚 TDL ₀ ：21 g/kg/2 年間（間欠投与） IARC：2B（人に対して発がん性があるかもしれないと分類された化学品） NTP：情報なし
生殖毒性	ウサギ経皮 TDL ₀ ：4,550 mg/kg（妊娠 6～18 日） ラット経皮 TDL ₀ ：15,000 mg/kg（妊娠 6～15 日） ラット吸入 TCL ₀ ：200 mg/m ³ /6H（妊娠 6～15 日） ラット経口 TDL ₀ ：18,382 mg/kg（14 日間、雄）
RTECS 番号	KL2975000

12. 環境影響情報

生態毒性 水生環境有害性 短期（急性）	甲殻類（ミジンコ）の 48 時間 LC ₅₀ = 2.15 mg/L（AQUIRE, 2012）から、区分 2 とした。
水生環境有害性 長期 （慢性）	急速分解性があり（3 週間での BOD による分解度：51.4%、TOC による分解度：96.7%、HPLC による分解度：100%（既存点検, 1976））、甲殻類（オオミジンコ）の 21 日間 NOEC = 0.78 mg/L（BUA 158, 1994）であることから、区分 3 とした。 * 既存化学物質安全性点検による判定結果：良分解性
残留性・分解性	化審法分解度試験：良分解性
生体蓄積性（BCF）	<1
土壌中の移動性 オクタノール/水分配係数	-1.43
土壌吸着係数（K _{oc} ）	4
ヘンリー定数（Pa・m ³ /mol）	4.0×10 ⁻⁶
オゾン層への有害性	情報なし

13. 廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。
地方条例や国内規制に従う。
焼却処理する場合には、可燃性溶剤に溶解又は混合した後、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。
空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。
処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	3263
品名（国連輸送名）	その他の腐食性物質（有機物）（固体）（アルカリ性のもの）
国連分類	8
副次危険	－
容器等級	III
海洋汚染物質	該当しない
MARPOL73/78 付属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	該当する
国内規制	
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規制に従う。
陸上規制情報	道路法、消防法の規定に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 （安衛令別表第 9 政令番号 219） リスクアセスメント対象物 濃度基準値設定物質（安衛則第 577 条の 2 第 2 項）：8 時間濃度基準値 1 mg/m ³ 皮膚等障害化学物質等（安衛則第 594 条の 2）：該当 （皮膚刺激性・皮膚吸収性有害物質）
化学物質排出把握管理促進法 （化管法・PRTR 法）	第 1 種指定化学物質 （政令番号：1-166、管理番号：626、名称：ジエタノールアミン）
化審法	優先評価化学物質（官報公示整理番号(2)-302、(2)-354）
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	危険物第 4 類 引火性液体 第三石油類（水溶性液体） 危険等級Ⅲ 指定数量 4,000L
輸出貿易管理令	該当区分なし（キャッチオール規制の対象となり得る） HS コード：2922.12

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律 (海洋汚染防止法)	有害液体物質 (Y 類)
船舶安全法	腐食性物質、有害性物質
航空法	腐食性物質、有害性物質

16. その他の情報

免責事項

本安全データシート (SDS) に記載した内容は、現時点で入手可能な資料及び情報に基づいて作成したものであり、記載内容の完全性及び正確性を保証するものではありません。また、本 SDS は今後、新たな知見や法令改正等により、予告なく内容を変更することがあります。

お取引先各位におかれましては、本 SDS の情報を、当該製品を安全に取扱うための参考情報としてご利用いただき、実際の取扱いにあたっては、自らの用途・使用条件・作業環境等に応じて必要な安全対策を講じるとともに、関連法令を遵守していただきますようお願いいたします。

本 SDS は製品の品質を保証するものではなく、本 SDS の記載内容に関連して生じた損害について、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。